

《Lesson 2》 特殊な動詞

一般動詞の中には「普通には ing を普通に足せない動詞」や「そもそも進行形にしない動詞」などがあります。

【普通には ing を足せない一般動詞】

	原形	ing 形
パターン 1	use (使う)	using (使っている)
パターン 2	run (走る)	running (走っている)
パターン 3	lie (横になる)	lying (横になっている)

パターン 1 = 語尾が“e”で終わる動詞。“e”を消して“ing”を足す。

<他の例> make (作る) → **making** (作っている)

パターン 2 = 最後が「子音+母音+子音」の動詞。最後の子音を重ねて ing を足す。

<他の例> swim (泳ぐ) → **swimming** (泳いでいる)

パターン 3 = 不規則な形。変化が異なるため、暗記するのがベスト！

<他の例> die (死ぬ) → ***dying** (死にかけている)

*進行形は、動詞によっては「何かの動きの途中 (未完了)」を表すことができます。

<例> die = 死ぬ dying = 死にかけている (だんだん死に近づいていっている)

stop = 止まる stopping = 止まりかけている (だんだん速度を落としている)

lose = 失う losing = 失いつつある (だんだん失っていっている)

【基本的に進行形にしない一般動詞】

(1) 「状態」を表す動詞

<例> know (知っている)

(2) 「構成」や「所有」を表す動詞

<例> have (持っている)

(3) 「知覚」や「心の動き」を表す動詞

<例> like (好き) want (ほしい)

*しかし、これらのルールにあてはまらない例外もありますので、注意してください。

【理解するポイント】

進行形は原則「その瞬間行なわれているもの」を説明する時に使われるため、動作が続くことが前提の動詞は基本的に進行形にならない。

(1) know / need

→「今、この瞬間は知っているけど、次の瞬間忘れてしまう」なんてことは通常ない。

(2) have / own

→「今、この瞬間は持っている（所有している）けど、次の瞬間無くしてしまう」ということは通常ない。

(3) like / want

→「今、この瞬間は好き（ほしい）けど、次の瞬間嫌いになる（ほしくなくなる）」ということは通常ない。

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。